

常呂大橋（ところおおはし）

■常呂バイパスの途中、常呂川に架かる常呂大橋は昭和54年10月に完成し、バイパスが完成した昭和58年8月2日、開通式に併せて渡橋式が行われました。

*橋の詳細は、次ページ「広報ところ」の記事をごらんください。

*2枚の写真は、渡橋式の様子



親子三代で常呂大橋を渡り初め

常呂バイパス開通



九年間の年月と三十六億円の仕事費をかけ、常呂市街地部分を一気に向回する総延長四千二百七十八メートルの「常呂バイパス」が完成し、八月二日、約百五十名の関係者を集め、開通式と祝賀会が行われました。

約九年の年月と、三十六億三千万円の事業費をかけ、常呂市街地を山側に向回する東浜一土佐間四千二百七十八メートルのバイパス道路として完成しました。

八月二日午前十一時、東浜のバイパス起点で行われた開通式では、これからの無事故を祈る神事のあと、齊藤町長、向田綱走支庁長らが花火を合図にテープカットを行い、バイパスの完成を祝う拍手の

地を走る国道は幅が狭く、駐車はもちろん大型車がやっとすれ違える程度、また冬季間の除雪にも支障をきたし、常に交通事故が心配されてきました。

このバイパスは、昭和五十年に用地買収などに着手して以来



中、常呂大橋まで走り初めをしました。

続いてバイパス途中の三つの橋の中でも三百九十三メートルと一番長い常呂大橋では、豊川の江田由蔵さん（八十歳）一家六人、岐阜の岡田茂さん（八十五歳）一家六人の三代にわたる親子二組を先頭に、渡橋式を行いました。

また、この後、中央公民館において祝賀会が開かれ、関係者全員でバイパスの完成を祝いました。

交通安全塔の寄贈

ライオンズクラブから

バイパス完成祝賀会の席上で、バイパス完成と常呂町開基百年を記念して、常呂ライオンズクラブ（国分幸七会長）から、無事故を願う「交通安全塔」の贈呈が行われました。



東浜起点と土佐終点二カ所に建設された塔には、交通安全の黄色い四文字が前後に、また、常呂町開基百年記念標語とシンボルマークが入ったホタテをかたどったものが上部に取り付けられています。

町長一筆



第です。それに一番心配していた天候も台風五号が鈍行台風だったため何んとかもち、また熱風を持って来てくれたので作況にも良い結果を与えてくれました。あんどん行列、海上パレード、盆踊り、千五百人に及ぶ常呂音頭による千

「ふるさと祭り」が終って「ホッ」とした感じでした。春のカーリング大会に始まった百年事業もピクニック、町民運動会を終えそして今回の三日間に渡る大行事と……実行委員会を初め諸団体の全面的なご協力にただただ感謝する次第

一方記念事業の方も順調に進んでいます。六千人の手形造りも九十パーセント近い協力を得、窯は大車輪で手形焼に取り組んでいまして、森林公園に建設中の記念展望施設も工事が順調で、経費の方も国・道から八割を越す助成を受け、永く町民のシンボルとしてばかりではなく、観光施設としても効果を期待できるでしょうし多目研修センター前の「百年ひろば」も予定通りオープンできそうです。

気がかりなのは天候ですが、暑さももう少し続いて、遅れている農作物が平年作に回復して欲しいものです。

* 常呂大橋 : 市街地から東浜方面



* 常呂大杯 : 東浜から市街地方面



* 常呂大橋から常呂河口方面



* 常呂大橋から上流方面

